

八ヶ岳総合博物館・公立諏訪東京理科大学地域連携プロジェクト  
紹介展示（国立科学博物館・八ヶ岳総合博物館）について

八ヶ岳総合博物館 と 公立諏訪東京理科大学地域連携プロジェクトの共同により作製された展示物（小惑星模型）が、東京上野の国立科学博物館で展示されています（令和7年1月13日まで）。これにあわせて、八ヶ岳総合博物館で同プロジェクトを紹介するミニコーナーを設置しましたので、ご案内いたします。

【概要】

- 1 行事名 茅野市八ヶ岳総合博物館・公立諏訪東京理科大学地域連携プロジェクトの紹介展示
- 2 内容
  - ・プロジェクトの活動の紹介（パネル）
  - ・国立科学博物館の展示会ポスター
  - ・プロジェクトで作製した小惑星模型（イトカワ 2000 分の 1、ベヌー 2000 分の 1）
- 3 期間 令和6年12月24日（火）～令和7年1月13日（月・祝）※年末年始休館あり
- 4 会場 八ヶ岳総合博物館（茅野市豊平 6983 番地）
- 5 料金 通常入館料（大人 310 円、高校生 210 円、小中学生 150 円）

【経緯等】

- ・2024年4月、八ヶ岳総合博物館が小惑星イトカワとリュウグウの模型作製を、公立諏訪東京理科大学地域連携プロジェクトに依頼。プロジェクト参画を希望する学生を募集した。
- ・6～8月にかけて、2名の学生が中心となり、3DCAD、3Dプリンタを使用し製作、完成させた。
- ・製作過程および完成物を八ヶ岳総合博物館で展示（8月～10月）。特に9月末～10月に行われた県内初の小惑星ダブルサンプル同時展示会には、多くの来場者があり人気展示として評判を呼んだ。
- ・同展示会の際に、国立科学博物館担当者より模型の借用希望 および 新規模型（小惑星ベヌー）作製の依頼を受ける。世界初となる小惑星3サンプル同時展示「小惑星からのサンプルリターン」（12月17日～1月13日）会場での展示にあわせ、10～11月にかけて作製。
- ・試料採取が行われた3つの小惑星イトカワ・リュウグウ・ベヌーの同縮尺模型を完成させた。  
現在、国立科学博物館で展示中（小惑星リュウグウ 2000 分の 1、ベヌー 2000 分の 1）。本プロジェクトの紹介パネルも設置されている。

（問合せ先）

担当 生涯学習部文化財課博物館係 渡辺

電話：0266-73-0300 FAX：0266-72-6119

E-mail：[y.hakubutsukan@city.chino.lg.jp](mailto:y.hakubutsukan@city.chino.lg.jp)

茅野市ホームページ：<https://www.city.chino.lg.jp>